

様式第 1 号

会 議 録

会議の名称		平成 28 年度つくば市生涯学習審議会（第 1 回）		
開催日時		平成 28 年 8 月 19 日 開会 15 時 閉会 17 時		
開催場所		つくば市役所 6 階 全員協議会室		
事務局（担当課）		市民部文化振興課		
出席者	委員	小野泰宏，柳沢逸夫，岡野恵子，後藤真紀，佐藤則恵，柘植法子，相澤久志，金川清治，宇木博明，伊藤達也，中井聖，大西重信，鴻巣統，須藤路子，高田正澄		
	その他	なし		
	事務局	栗原市民部長，鈴木市民部次長，秋葉文化振興課長，星野課長補佐，矢口係長，宇津野係長，山口社会教育主事， 星川筑波交流センター所長，酒井大穂交流センター所長，皆川吉沼交流センター所長，直江豊里交流センター所長，富田谷田部交流センター係長，金川松代交流センター係長，岡野二の宮交流センター係長，東郷春日交流センター係長，高田島名交流センター所長，中澤小野川交流センター所長，矢口桜交流センター所長，大里栗原交流センター所長，和島竹園交流センター係長，久住並木交流センター所長，西田広岡交流センター主任，河田吾妻交流センター所長，河島荃崎交流センター所長		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開
傍聴者数		0 人		
非公開の場合はその理由				
議題		(1)平成 27 年度第 5 回生涯学習審議会会議録について (2)その他		
報告		(1)平成 28 年度地域交流センター後期講座について (2)その他		
会議	1 開会 2 任命状交付 3 あいさつ			

次	4	自己紹介
第	5	会長及び副会長選出
	6	議題
	7	報告
	8	閉会

開 会

任命状交付

市長あいさつ

委員および事務局自己紹介

会長および副会長選出

会長・副会長の選出について、事務局より「つくば市生涯学習審議会条例」に基づき委員による互選を求めたが、委員より、役員の推薦は事務局に一任したい旨の申し出があったため、事務局の推薦により会長に鴻巣統委員、副会長に小野泰宏委員が選出され、満場意義なく決定した。

委員過半数の出席により会議成立の報告・確認

審議内容

(1) 平成 27 年度第 5 回つくば市生涯学習審議会の会議録の確認について

事前に配付した前回（第 5 回）の会議録について、訂正等がないことを確認した。

(2) その他

事務局：今後の審議をしていただく予定を説明させていただきます，机上に配布させていただいております「第 2 次生涯学習推進基本計画」ですが，委員の皆様には審議をいただき本年 3 月に策定いたしました，この計画に記載されている内容についての進行管理，また生涯学習全般に関してのご意見をいただくようになります。また，別途配布しております「地域交流センター基本計画」この計画は平成 27 年度に終了しておりますが，この計画についての総括もお願いするようになりますので，今後ともよろしく願いいたします。

報告

(1) 平成 28 年度地域交流センター後期講座について

各交流センターより平成 28 年度地域交流センター後期講座（案）について説明。

事務局：平成 28 年度後期講座につきましても、市民の要望・社会の要請に合わせた現代的課題をテーマとした講座を各交流センターの所在地等のバランスを考慮し、また、これまでの生涯学習審議会における意見を踏まえ、多くの方に受講の機会を提供できるよう企画をしてございます。また、資料の訂正ですがジャンル別前期講座となっておりますが後期講座と訂正をお願いいたします。後期講座のジャンルですが、社会生活 3 講座、家庭生活 30 講座、教養 37 講座、地理・歴史 5 講座、自然科学 2 講座、スポーツ・レクリエーション 12 講座の 82 講座の予定でございます。それでは各交流センターよりそれぞれの企画についての留意点や特徴等を説明させていただきます。

筑波交流センター：地域の特性を活かした地元の文化、風習を広く知っていただくための講座、年末年始の行事に関係した講座を中心に 8 講座を計画しました。ジャンル別には家庭生活 3 講座、教養 3 講座、地理・歴史 2 講座となっております。

大穂交流センター：アンケートでの要望が多かったもの、以前行った講座で好評だったもの、初めて企画したもの、合わせて 5 講座企画しました。また、最近子連れの母親が多く来館していますので、1 講座につきましては保育付の講座を企画いたしました。

吉沼交流センター：毎回講座最終日に実施しております受講者アンケート、並びに窓口でのご要望等の市民ニーズに基づくものと、過去応募者が多く受講者が抽選となってしまう講座を、今回は勘案しまして企画しました。特に将棋の講座につきましては講座終了後にサークルに発展することを期待しまして企画いたしました。吉沼交流センターは東日本大震災により 2 年間休館したため、サークル数が少なめですので、サークル形成に発展するような講座を重視し企画してございます。

豊里交流センター：4 講座を企画しております、気軽に歌を歌える講座とかサークルはありますかという問い合わせに答えるため、歌ってリフレッシュを企画しました。外 3 講座は、スポーツ・レクリエーションのジャンルです、グラウンド・ゴルフは競い合いながら楽しめる講座となっております、あとの 2 講座は昨年鬼怒川の洪水により避難所となり中止した講座を復活させたものです。

谷田部交流センター：4 講座を企画しました、まず子育て支援ということで親子講座のベビーマッサージ、土曜日に中高生を含めた護身術の講座を企画しました、毎回ダ

ンスや踊りを企画していますが、好評ですので1講座は企画しております。

松代交流センター：4講座バランスよくこれまでの申し込み状況を鑑みながら企画しました。お菓子作りにつきましては、家族や友人等どのようなペアでも参加ができます、認知症サポーター養成講座は定員が30人ですが、ホールで実施するため倍の受け入れは可能です。

二の宮交流センター：教養3講座、家庭生活2講座を企画しております。パン作りは老若男女すべての方が参加可能となっております、漢字で遊ぼうは対象が小学生ですので土曜日に企画しています、フラワーアレンジメントと生け花は交流センターで活動している団体の方を講師に迎え、今後続けやすい講座を企画しました、プレママ&ルーキーママ講座は乳幼児学級に参加できなかった方のために企画しています、救命救急はAEDの使用方法を覚えていただき、当センターに設置していることをアピールし活用していただくため企画しております。

春日交流センター：若い世代の方が多く住んでおられますので、新しくお母さんになられた方を対象に、ベビー育脳リトミック&ベビーマッサージを企画しています、また小中学生を対象にした講座も企画するようにしていき、料理講座や文字のチカラという講座を企画しております、トンボ玉作り・ジオパークの講座は以前には土日夜間に開催していましたが、平日の開催の要望があったため今回は平日の開催となっております。

島名交流センター：地域性、必要性を考慮しまして4講座企画しました、スポーツ・レクリエーション1講座、教養2講座、家庭生活1講座、みんなで楽しく歌いましょうは高齢者を対象に、楽器を使わず体を動かす講座を企画しました、フラワーアレンジメントはクリスマスや正月飾り等、新しく地域に来られた方を対象に企画しました。

小野川交流センター：特色としましては、赤ちゃん・子供の救命応急手当を企画しました、小さいお子さんを持つご家庭のかたを対象に、もしもの時のための応急手当を伝授していただく講座です、その外は年末年始の行事向けの講座です、全部で4講座企画しております。

桜交流センター：小学生から高齢者まで受講者を幅広く対象にしました、また季節感を考え企画いたしました、日本の伝統的武道の空手の技と心を小中学生が楽しく学べる空手教室を、またいつまでも自分の足で歩き続けるため、健康寿命をのばすために

健康体操を学べる、ロコモチャレンジ教室を企画しました、家族の誕生日や記念行事にかかせない太巻き祭りずしの講座を成人の方を対象に企画しました、以上3講座になります。

栗原交流センター：4講座企画しております、男のキッチンはこちらから高齢社会になるため男性にも料理を作っていただけるよう鑑みまして企画いたしました、絵本の選び方楽しみ方につきましては、最近子供たちはゲームやスマホに熱中していますので、読書にも目を向けていただけるよう企画いたしました、手作りみそに関しましては、食育、健康問題等もありますので企画いたしました、スマホについてはコミュニケーションの手段としてLINEに注目して企画いたしました。

竹園交流センター：6講座を企画しています、家庭生活1講座、社会生活1講座、教養2講座、地理・歴史1講座、自然科学1講座になります。親子講座は保育付でお客様が2人でも1人は預けて参加できるようにしました、趣味と実益を兼ねた講座を2つ企画し、1つは保育付にしました、自らのストレスを把握し生き生きと生活を送るための講座を夜間に企画しました、高齢者に人気がある歴史、自然科学の講座ですが講義を平日の夜間に現地研修を土曜日に行い勤労者を視野に入れた講座にしております。

並木交流センター：3講座を企画しております、親子講座としまして親子体操2・3歳のお子さんと保護者を対象とした講座となっております、外の2講座は季節感を感じられるもの、クリスマスカード・年賀状、クリスマス料理・おせち、この講座は登録団体のメンバーに講師になっていただくということが特徴となっております、以上によりまして生涯学習の提供、市民交流を図っていききたいと思います。

広岡交流センター：4講座を予定しております、選考の理由は過去に行いました講座アンケートや施設の利用者にもご意見をいただき企画しております、今の時代避けては通れないスマホ関係や外のセンターではサークル化しているが、広岡ではサークル化をしていないため、これを機会にさせていただくため、4講座を企画しました。

吾妻交流センター：講座開講の留意点として各ジャンルをまんべんなくということで、6講座企画しています、歴史、健康、スポーツ、自然観察、地域貢献、警防活動、様々な方が参加出来るように週末や平日の夜等の講座も企画しています、市民活動センターとの共催もしております、

荃崎交流センター：受講者アンケートや窓口でのご意見ご要望を踏まえまして、検討を行い1つのジャンルに偏らないようバランスを考え3講座企画いたしました、おいしいコーヒーのいれ方と楽しみ方は各交流センターで人気の講座で、荃崎ではここ数年実施してないので企画しました、スマートフォン・タブレットはこれから使いたいという初心者のために企画しました、ダンベル健康体操は健康に関する講座として企画しました。

主な質問、意見等

委員：松代交流センターの認知症サポーター養成講座ですが、定員が30名ですが60名くらいは大丈夫ということですが、私たちの団体でも認知症の勉強をしたいというのがありますが、60名は可能なのですか。

松代交流センター：ホールの収容人数は100名ですので、大きなスピーカーやスクリーンを用意すれば可能です。

委員：座学についてはそれぞれの交流センターのキャパはあると思いますが、なるべく多くということで説明があったと思いますが、定員が30名であるのに60名まで受け入れますということであれば、最初から60名にすればいいのでは、申し込む側とすれば定員が少ないと外れてしまうのではないかと思い、応募しなくなってしまうのではないかと思います、その辺をもっと工夫していただければと思います。

事務局：講座の定員に関しましては次回の講座を企画する際に検討したいと思います。

委員：講座は生涯学習の場としてはいいと思いますが、自分が楽しむ内容、知識を身につける内容、教養を高める内容がありますが、リーダーシップを養成するような内容の講座がない、講座を受けた後に外の人を楽しませるような講座がない、前期の講座の結果がでると思いますけど、大体は参加率が少ないその辺のことも考えテーマを決めていただきたい。講座とは関係ありませんが、交流センターで青少年の居場所を開催しているのでしょうか。

事務局：6交流センターにおいて開催しております、吾妻交流センターにおいても同じような事業を開催したいということで、今年度から開催する予定となっております。

委員：講座の開設数ですが、多いところで8講座、少ないところで3講座となっております、講座開設の最低限の数とかはあるのかどうか、ジャンルのバランスの差も大きい

ので、設定の基準はどのようになっているのか教えていただきたいと思います。

事務局：講座は各センターの事業として行っています、講座に関していくつかの講座をやらなくてはならないという規定はありませんし、交流センターに配置されている人数も違いますので、出来る範囲での設定をしています、そのため各交流センターではばらつきが出てきますのでご了承ください。内容につきましては、アンケートやこのような講座をやってほしい等の意見を参考にしております。また、予定していた講座数が講師の都合や場所の関係上実施できなくなり、講座数が減る場合もありますのでご了承ください。

委員：地域の核として交流センターが存在するためには、魅力のある講座を企画していただければと思います。

委員：保育付の講座が今回増えていて素晴らしいと思いながら聞いていましたが、センターごとに保育の月齢が異なるのはどのような線引きになっているのか、統一された基準はないのか。

事務局：統一の基準はありません。保育ボランティアの人数等によりばらつきが出てきていると思われます。

委員：二の宮交流センターのプレママ&ルーキーママの講座ですが、保育が5名となっておりますが、保育に漏れた方はお子さん連れで受講は可能でしょうか。

二の宮交流センター：お子さん連れで受講は可能となっております、保育は5名となっておりますが定数を越えても対応できるように考えております。

委員：交流センターは学校区ごとにあるようですので、青少年の交流の場としての位置づけにいただければ、青少年健全育成の観点からは大変ありがたいと思いますので今後検討していただければと思っております。

事務局：つくば市には青少年センターはありませんので、交流センターにおいて青少年の居場所を開催しております、利用実績の少ない場所もありますので、引き続き利用実績等考慮して、継続して行っていきます。

(4) その他

事務局：次回の審議会は11月または12月を予定しています、前もって日程の調整表を送り、出席できる委員が多い日程に調整させていただきますので、よろしく願います。

議長：講座の内容ですが，前回の会議でもニーズとミスマッチがありマッチングさせるのは難しいと事務局からもありました，本日も若干そういう話がありましたが，前回の講座の結果がこれからまとまってくると思いますが，次回の説明の際には，今回の会議の内容を踏まえて，このように努力しましたと述べていただき講座の内容を説明していただければ，審議したことが身になっていくと思われます，是非全交流センターで今回の審議会の内容を踏まえていただき，これが生きるような話を一言加えていただき，ご説明をいただければと思ひます。

他にご意見がないようなので，審議会を終了いたします。

事務局：以上を持ちまして，平成 28 年度第 1 回つくば市生涯学習審議会を閉会致します。

・閉会